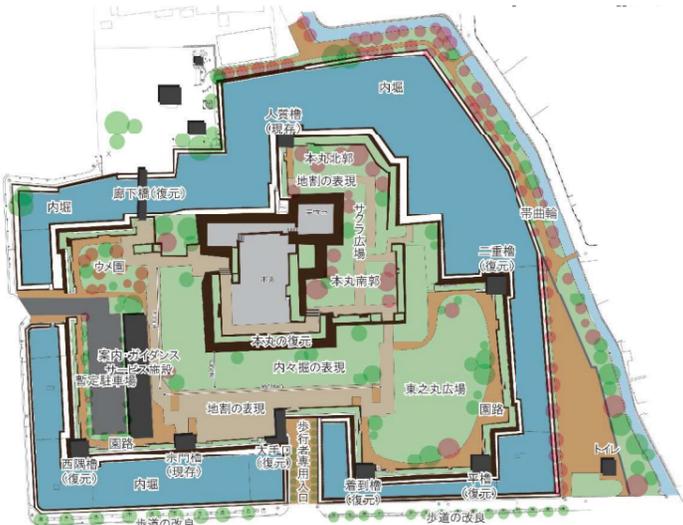


大分城址公園の事業概要



●短期整備 平成29年から平成31年

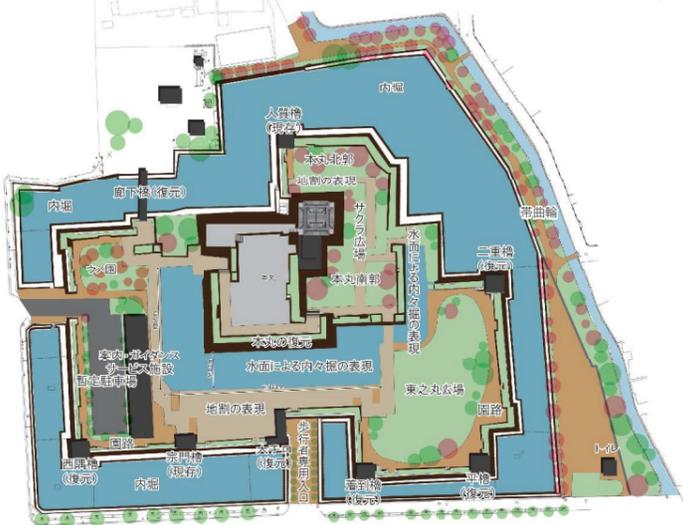
- ・本格的な整備を実施する前に発掘調査を推進する期間
- ・既存施設の活用を図りながら広場として利用
- ・発掘調査の妨げになるものの撤去
- ・発掘調査範囲に干渉する来庁者用臨時駐車場の縮小
- ・ユニバーサルデザインに配慮した新たなトイレの設置
- ・国道197号側の出入口を歩行者専用入口とする
- ・サクラの名所としての帯曲輪の整備
- ・石垣や櫓、塀への見通しを阻害している樹木の整理



●中期整備 平成32年から概ね7年間

本計画書の整備目標

- ・発掘調査の結果を踏まえた本丸の地形・石垣の整備検討
- ・広場的利用も可能な内々堀の平面表示
- ・当時の土地利用を伝えるための地割の表現
- ・ガイダンス機能等を有した便益施設等の設置
- ・様々なイベントを開催できる東之丸の広場整備
- ・本丸北郭・南郭でのサクラの名所づくりの推進
- ・来庁者用臨時駐車場の移転検討



●将来整備 城址公園の整備活用に関する将来的な方向性

～調査研究の成果に応じて天守等の歴史的建造物を含む、城郭の復元・整備をめざす～

- ・史跡の保全を前提とした公園の活用
- ・継続的な調査研究の推進
- ・調査・研究の成果に応じて天守等の歴史的建造物の整備をめざす

※整備目標に掲げている天守等を含む歴史的建造物の整備にあたっては、現時点において情報が不足しているため、平成29年度以降に行う発掘調査や文献調査等の成果や、寄付金制度等の活用による財源確保の課題を整理し、総合的視点から判断する

子どもと過ごす憩いの空間



白雉城に想いを馳せて



歴史の発信拠点



大分の若者が集う場



ふるさとの誇り



大分県に見る日本の魅力



これまでなかった魅力的なイベント



7つの将来像の実現に向けて

大分城址公園整備・活用基本計画
概要版

平成29年2月 大分市

大分城址公園からまちづくりへの展開

●イベント・利用プログラム

- ・周辺の史跡等と連携したルートづくり
- ・大手公園・遊歩公園との連携（イベント・散策ルートなど）
- ・公園周辺の歴史的観光資源や芸術文化施設との連携

●情報発信

- ・様々なメディアと連携した情報発信
- ・インターネットを活用した情報発信

●地域連携・体制づくり

- ・地域組織や既存団体、教育機関、福祉施設、地域事業者との連携
- ・様々な市民の参画による公園を育む連携体制の実現

とき・ひと・まちをつなぐ大分の誇り

～歴史を伝え、市民に親しまれる公園へ～

方針1：史跡の全容解明をめざした調査・研究の継続

方針2：史跡の価値をまもり、伝え、市民の憩いの場として親しまれる公園整備

方針3：多様な利用者に対応した展示・解説と史跡・公園双方のプログラムの充実

方針4：地域に根ざした史跡公園としてのマネジメントと体制構築

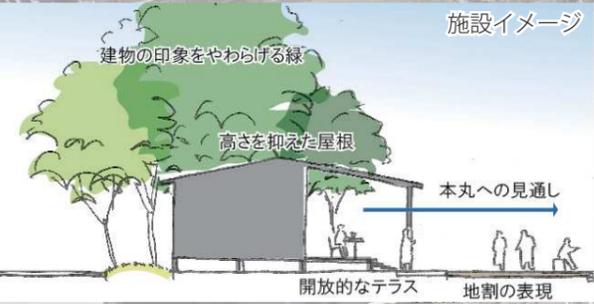
主な整備の考え方

①本丸の復元

本丸や内々堀などの石垣は府内城の特徴を示す重要な要素です。そのため発掘調査等により石垣の位置や構造等に関する情報を収集したうえで、調査結果に応じて周辺地形も含めた本丸の復元を検討します。

②便益施設の設置

歴史文化観光拠点としての活用や、中心市街地における回遊性拠点としての活用を図るため、府内城の歴史的特性がわかる展示機能及びガイダンス機能、飲食・物販機能、中心市街地の拠点としてのインフォメーション機能を満たす便益施設の設置を検討します。



③内々堀の表現

府内城の水城という特徴をわかりやすく伝えるために、内々堀の範囲を芝生や舗装、縁石などを用いた表現を検討します。

④地割の表現

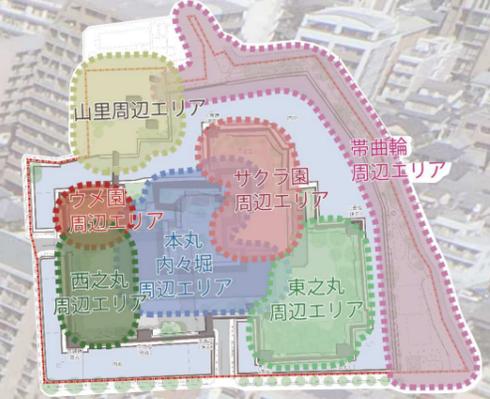
当時の土地利用や人の動きをわかりやすく伝えるため、舗装材によって府内城の歴史的な地割（城内の通路）を表現します。

⑤東之丸広場の整備

大分城址公園内で最も広がりのある芝生広場として、憩いの空間としての活用や、イベント広場としての活用、災害時にも使用可能な広場としての活用を図ります。

⑥サクラの名所づくり

現在サクラの名所として親しまれている帯曲輪の更なる魅力向上に加え、城内でもサクラを楽しめるようにします。



主な活用の考え方

本丸・内々堀周辺エリア

整備された本丸の地形や石垣と一体となった天守台を拠点として、歴史学習の拠点となるプログラムを中心に、さらに本丸の広場空間を活用した集客イベントやARやVRのデジタル技術の活用等新しいサービス提供による利用促進を検討します。

サクラ園周辺エリア

サクラの生育状況を維持向上させ、桜の名所としての新たな空間利用を図ります。また、水の手整備によって堀へのアプローチが可能となった際は、水辺の活用を推進します。

東之丸周辺エリア

園内におけるもっとも広がりをもった芝生の広場空間であり、様々な集客イベントの拠点かつ、日常の憩いの広場としての活用を図ります。

西之丸周辺エリア

便益施設を拠点として、案内ガイドのサービス提供、展示機能、屋外空間と一体となった休憩機能の向上、またボランティア等の交流の場となる活用を図ります。

ウメ園周辺エリア

西側エントランスにはウメ園を設け、適切な維持管理を行うことで、季節の彩りを活かした活用を図ります。

山里周辺エリア

松栄神社の空間の保全に努めつつ、神社の案内と合わせた北之丸としての歴史ガイドや既存の緑陰の活用を図ります。

帯曲輪周辺エリア

サクラの生育状況を維持・向上させ、周辺の緑と一体となってゆつくりと歴史性を感じることでできる活用を図ります。